

佐賀

SAGA

ニュース・話題は

▽佐賀総局

☎代表0952(26)7181
FAX(23)8517
松原1-1-31
(〒840-0831)

▽唐津支局
☎0955(72)3005
FAX(74)7068

▽鳥栖支局
☎0942(83)2010
FAX(83)2410

▽武雄支局
☎0954(22)2343
FAX(22)2326

▽伊万里支局
☎0955(23)2280
FAX(23)2264

▽鹿島支局
☎0954(62)2722
FAX(62)2729

▽多久小城支局
☎0952(71)1210
FAX(71)1213

配達・購読は
□エリアグループ 佐賀事務局
☎0952(26)0148
(午前9時～午後6時)
日祝除く

あすのこよみ

旧暦 2月7日
月齢 6.2
日出 6.21 日入 18.32
月出 9.58 月入 —

きょうの潮 (中潮)			
	満潮	干潮	
有明海 (大浦)	11.41	5.50	18.03
唐津	0.21	5.50	18.44
	12.00	18.44	
あすの潮 (小潮)			
有明海 (大浦)	0.34	6.23	18.44
唐津	12.13	18.44	6.23
	1.06	6.23	

民主、基盤強化へ懸命

武雄市長選で新人推薦

大串衆院議員ら支持訴え



武雄市長選を控え、民主党推薦の立候補予定者の支持者を前に政権交代や新政権の政策を語る大串博志衆院議員(右)。夏の参院選に同党公認で立候補予定の甲木美知子氏(左)、川崎裕参院議員(中央)も参加した。

今夏の参院選を控え、県内では民主党の地元国会議員が地方回りを加速させている。昨年夏の衆院選勝利で政権交代し、国政で与党となった同党だが、地方基盤が脆弱とされるためだ。4月は県内5市町で首長選が予定され、同党県連は武雄市長選(4月4日告示、同日11日投票)に立候補予定の新人を推薦。武雄市で20日に開かれた集会では、大串博志衆院議員

ら3人が政権交代の意義や新政権の政策を訴えた。「(医療や介護、福祉など)社会のセーフティネット(安全弁)を張るのが政治の役割だ」。会場の武雄杵島地区区民会館で、大串氏は集まった市民約70人に熱弁をふるった。集会には大串氏に加え、川崎裕参院議員、参院選佐賀選挙区(改選数1)に同党公認で立候補予定の甲木美知子氏が出席。川崎氏は、国営諫早湾干拓事業(長崎県)潮受け堤防開門問題で、鳩山由紀夫首相と早期開門を求める古川康知事が16

日、面談したこと挙げ、「新政権で国政が(地方に)身近なものになった」と強調した。集会后、西日本新聞の取材に対し、大串氏は「(地方への党勢浸透は)一つ一つ積み上げていくしかない」と語った。武雄市長選には、現職榎野啓祐氏(40)と同党推薦の新人山口優氏(63)の2人が立候補を表明。また、神埼市長選(同日11日告示、18日投票)は、現職松本茂幸氏(59)に新人狩野常徳氏(35)が挑む構図。狩野氏は同党県連に推薦願を出し、調整が進んでいる。(庭木香允)

2010参院選・佐賀 第2部

1

2月17日、東京・霞が関の総務省。JA佐賀中央会の中野吉美会長は郵政民営化見直しに伴う郵便貯金の預入限度額引き上げ反対を陳情していた。その後、原口一博総務相(佐賀1区衆院議員)が切り出した。「小沢さんと会ってもうえませんか」

農業

A級戦犯扱いで踏み絵

約7時間後、中野会長と向き合った小沢一郎・民主党幹事長に原口総務相が呼びかけた。

余裕たっぷりだったといふ。政権交代後は自民を支援した各業界団体の中にも運動量の多さから「A級戦犯扱いされた。民主・自民関係者は先の小沢・中野会談を「農政協

らされれば大豆に転作する農家は少ない」「裏作の小麦への助成は地主と耕作農家のどちらに支給されるのか」

小城市内の公民館で2日6日に開かれた戸別所得補償の勉強会。主催した大串博志財務政務官

「佐賀から比例候補を擁立したい。中野会長が応援していただければ心強い。幹事長からも頼んでもうえませんか」

農業政策ごとに細かに補助金を設け、農協を通じて農家に還流する利益分配システムを築き上げた自民党農政。選挙では農協が農家を束ねて全面

「助成額がここまで減らされたら大豆に転作する農家は少ない」「裏作の小麦への助成は地主と耕作農家のどちらに支給されるのか」

「政権交代後初の大型国政選挙となる今夏の参院選では、半世紀にわたり政権与党であり続けた自民党を打ち出すのか。県内業界団体の動きを探

斬新なアイデア次々と

都市デザイン唐津で中間発表会

建築学を学ぶ学生が唐津市で都市デザインを考える「国際建築都市デザインワークショップ唐津2010」(日本建築学会など主催)の中間発表会が20日、同市貝原町のまちなか集い館であった。関係者や市民ら約60人が出席し、学生がそれぞれアイデアを提案し、ワークシヨップは14日に開幕。米国、ドイツ、韓国など15カ国43人が2グループに分かれ、唐津城や唐津神社などの名所のほか、中心商店街や再開発される大口バスセンターを訪問。市民に聞き取り調査もして、唐津の魅力を探ってきた。発表会では「唐津城の近隣に図書館を造る」「川の水をせき止めて干潟に



ワークショップの中間発表会。関係者や市民ら約60人が出席し、学生がそれぞれアイデアを提案した。

知的障害者を支援 SO日本設立 細川さん講演



講演する細川佳代子さん

知的障害者を支援する活動と自立を支援するソーシャルオリビックス(SO)日本・佐賀の設立15周年を記念したフォーラムが20日、佐賀市であった。SO日本を設立した細川佳代子さんが講演する細川佳代子さん

戸別所得補償制度

米の生産調整に参加した農家に対し、標準的な生産額と販売額の差額分(赤字)を国が負担する。10月当たり1万5千円を定額とし、販売価格が急落した場合に上乗せ支給される。水田を有効活用した麦、大豆、米粉などの転作にも助成。生産調整への自主的参加を促すと同時に

主食用米以外の自給率向上を図る。ただ、集団営農による大豆転作の先進地とされた県内では、米への助成金が手厚くなる一方で大豆の助成は10万当たりに5万円前後から3万5千円に減額となることから米作付けを減らす農家が増えつつある。

「花粉情報」は、日の観測が休みだったため休載します。



参院選への公認候補内定を受け、JA佐賀中央会に会いさつに訪れた民主党関係者(右側の3人)。JAの

業界団体編

か選抜肢はないだろう。今夏の参院選に向けた中野会長の苦悩は深い。政権交代後初の大型国政選挙となる今夏の参院選では、半世紀にわたり政権与党であり続けた自民党を打ち出すのか。県内業界団体の動きを探